



## 第102期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



## Evolution for Customers

### — 全進で未来へ"シンカ" —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日第102期（2023年4月1日～2024年3月31日）の決算の発表を行いましたので、株主の皆様には当社の状況、そして今後の取組等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシトゥエンティワン  
取締役 代表執行役社長 児島 一裕

### Q1 2024年3月期の業績についてどのように評価されていますか。

2024年3月期は、『成長の礎を糧に飛躍する3年』と位置付けた「中期経営計画2026」の初年度として、グループ一丸となり、全事業領域での成長に取り組みました。

その結果、事業成長を着実に進めるとともに、次期以降の更なる業容拡大を企図した大型3PLセンター（神戸西LC※）の開設を進めることができました。※LC：ロジスティクスセンターの略（以下同様）

売上高は406億円（前年同期比16.7%増）、経常利益は23億円（同14.0%増）と、ともに前年度を上回り、過去最高を更新いたしました。

売上高は、期初に開設した大型3PLセンター（北大阪LC、流山LC、鳴尾浜LC）に加え、2022年10月に子会社化した株式会社旅人の連結、首都圏でのオフィス移転事業の拡大などの効果もあり、グループとして初めて売上高400億円を超えました。

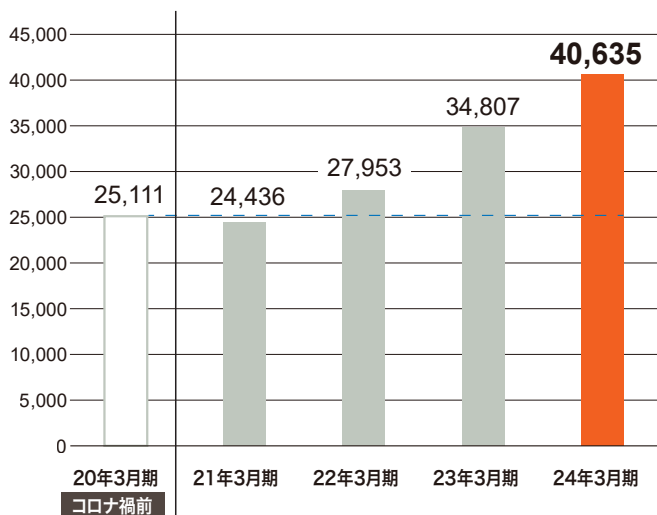
また、経常利益は、上記大型3PLセンター開設に伴う備品購入等の投資費用や、成長事業への人材投資に加え、次期以降の更な

る業容拡大を企図した大型3PLセンター（神戸西LC）開設に伴う想定外の先行投資を行ったものの、上記の業容拡大、付加価値の高い業務の受注等により、大幅な増益となりました。

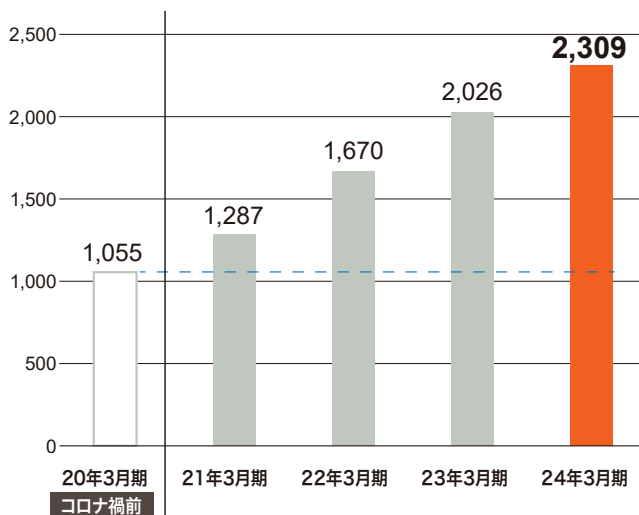
2020年3月期のコロナ禍前と比較すると、売上高は251億円から406億円、経常利益も10億円から23億円と、売上高・経常利益ともに大幅に増加しております。

## 売上高・経常利益の推移

### 売上高 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



## Q2 株主還元の方針について教えてください。

2024年3月期の業績が堅調に推移したことから、期末配当は前回予想の34円から更に2円積み増し、2024年3月期の最終的な一株当たり配当金は36円（配当性向31.4%）とさせていただきます。

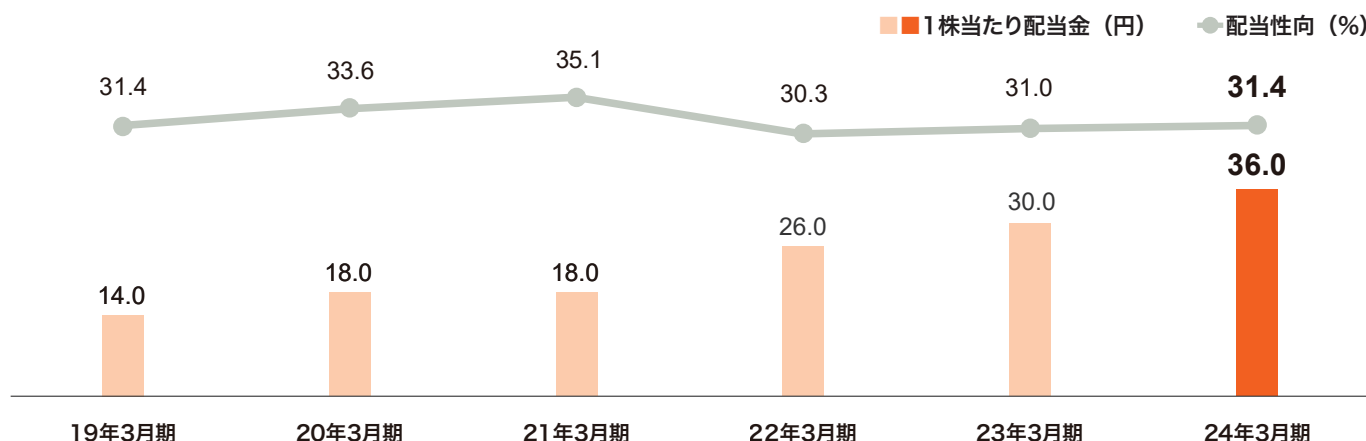
当社では、株主還元について長期的発展の礎となる財務体質の強化と、安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を連結配当性向30%以上を目安に還元する方針を掲げています。

当初、2024年3月期の期末配当を32円と発表、その後第2四半期の決算を受け34円に修正発表しましたが、上記の基本方針と

業績を鑑み、更に2円の積み増しを行いました。

当社の株価は、2020年3月末は486円でしたが、2024年3月末は1,298円と、この4年間で3倍に近い167%の上昇となっております。この株価上昇の背景の一つに当社の配当政策があると考えられており、今後も株主の皆様にご評価いただけるよう、業績を堅調に伸ばし、株主還元を進めてまいります。

## 1株当たり配当金・配当性向の推移



### Q3 2025年3月期の業績見通しについて展望を教えてください。

大手インフラ会社向け資材販売業務や大手e-コマース向け配送業務・庫内作業の拡大を予定しており、売上高425億円、経常利益26億円を見込んでおります。

また、中期経営計画最終年度となる2026年3月期においても、更なる業容拡大を計画していることから、最終目標数値を上方修正いたしました。

#### 【2025年3月期の業績予想】

大手インフラ会社向け資材販売業務や大手e-コマース向け配送業務の拡大に加え、2023年11月に開設した「首都圏輸送センター」や、2024年3月に兵庫県神戸市に開設した「神戸西LC」の本格稼働、及び2024年8月には「川西LC」の稼働を予定していることから、売上高425億円（前年同期比4.6%増）を見込んでいます。

利益については、前年度に引き続き、幅広い事業での成長に向けた車両・設備・人材への投資が計画されているものの、上記の増収や前期期初に開設した大型3PLセンター（北大阪LC、流山LC、鳴尾浜LC）の収益化、業容拡大による収益源の増加などで、経常利益26億円（同12.6%）を見込んでいます。

#### 【中期経営計画2026の上方修正】

なお、上記2025年3月期の業績予想は、当初の中期経営計画2026の最終目標数値である売上高420億円、経常利益25億円を中計2年目で上回ることとなります。

また、中計最終年度となる2026年3月期に向け、各事業領域で事業成長を推進するための投資を計画している他、2025年2月に愛知県小牧市に「小牧LC（仮称）」が竣工する予定となっていることから、中期経営計画2026の最終年度の目標数値を売上高450億円、経常利益28億円に上方修正いたします。1株当たり予想配当金についても、当初計画を大きく上回る業容拡大を鑑み、当初発表から4円積み増し、過去最高額となる40円を予定しています。



#### （財務面における数量目標）

項目	2025年3月期 連結業績予想	2026年3月期 （中期経営計画2026）
売上高	425億円	450億円
経常利益	26億円	28億円
1株当たり配当金	38円00銭	40円00銭
ROE	8%以上	8%以上
配当性向	30.6%	30%以上
従業員数	1,600名	1,700名

### Q4 サステナビリティに関する取組の中で直近のトピックスを教えてください。

当社グループでは、「安心をずっと、驚きをもっと。人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。」というグループパーパスのもと、持続可能な社会の実現を目指し、様々な活動に取り組んでいます。

本日は、安全への取組の一つである、最新機器を用いた事故防止取組をご紹介します。

当社グループは、お客様に安全・安心なサービスをお届けするため、「輸送の安全に関する主要目標」（※1）を掲げ、安全を徹底した事業活動に取り組んでいます。

今年度は、新たにデジタルタコグラフ（運行記録用計器）とドライブレコーダー一体型機器の導入を予定しており、運転管理システムの刷新を目指します。今回導入予定の機器を用いて、運行管理のクラウド化を行い、運転日報の作成を簡便化、さらには蓄積された運行記録をもとに、ドライバー毎の運転特性の解析や運転指導に活用し、事故の発生を抑制する『穏やかな運転操作』を意識させることで事故率低減に取り組んでまいります。

また万が一、事故が発生した際にはドライブレコーダーに搭載された複数のカメラ（前方・後方・車内）を活用することで事故原因

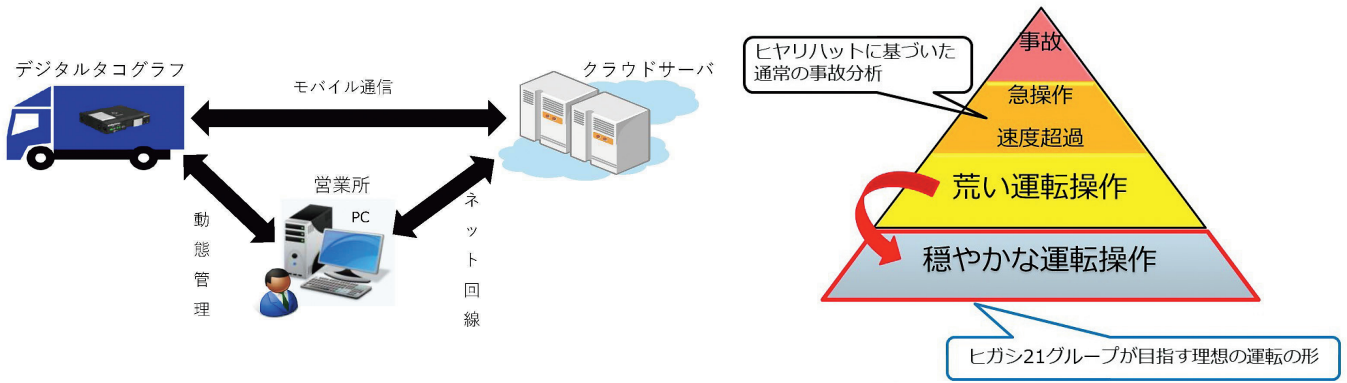
の分析を行い、今後の再発防止に繋げてまいります。

当社では、これらの機器導入を通じ、事故抑止と防止の両面を目的とした安全管理システムの構築を引き続き目指してまいります。

※1『「グループ全体の車両事故率評価」を事故率2%以内とするAAA（※2）、』『「重大事故」を0件』『「飲酒運転・過積載違反」を0件』

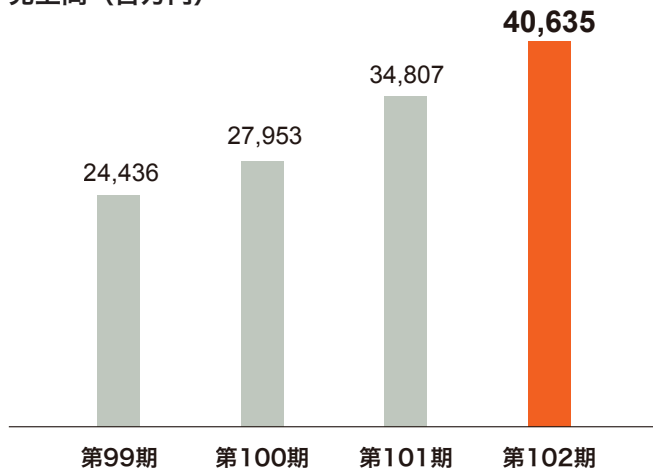
※2車両事故率評価AAAとは、年間事故件数を全ての所有車両数（事業用・自家用・フォークリフト）で割り、パーセント表示したものが2%以内となる最高の評価。（参考）AA⇒5%以内、A⇒8%以内、B⇒15%以内

*Evolution for Customers*  
—— 全進で未来へ “シンカ” ——

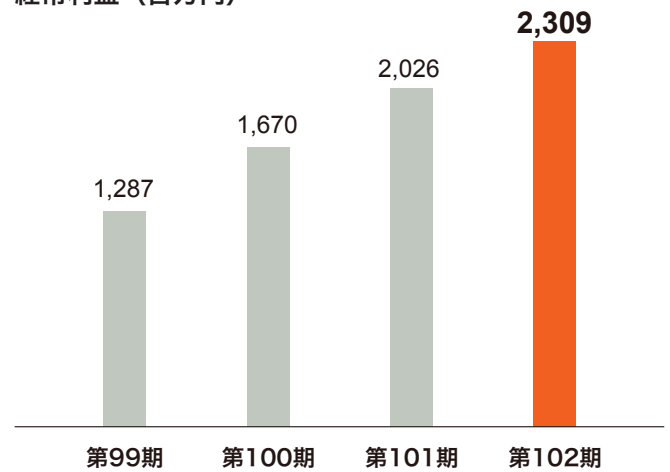


## 決算ハイライト

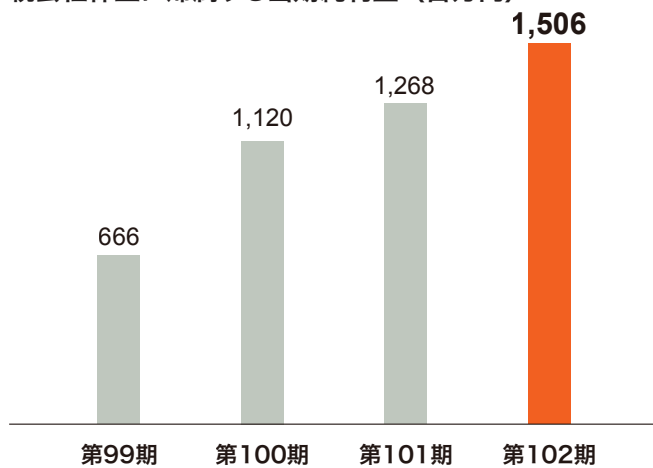
売上高 (百万円)



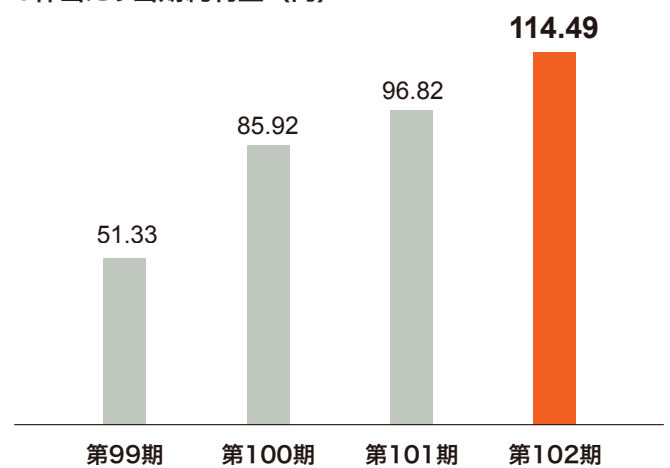
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)

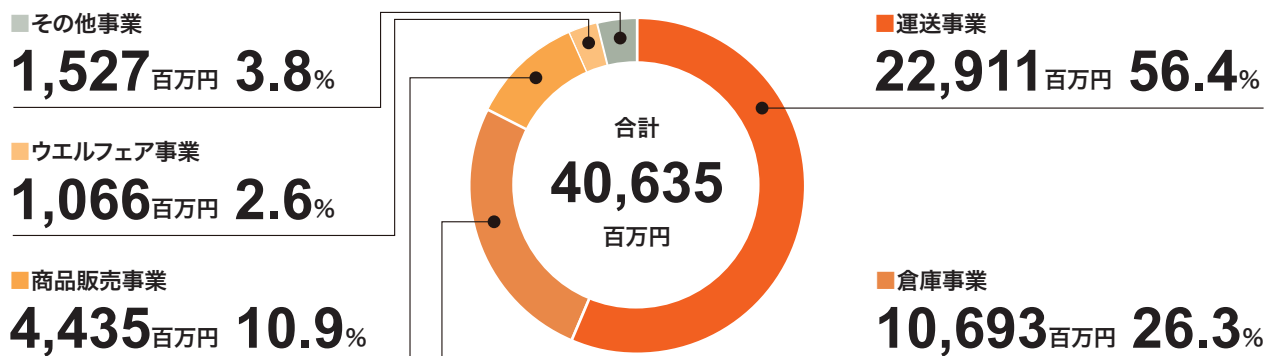


(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 事業の概況

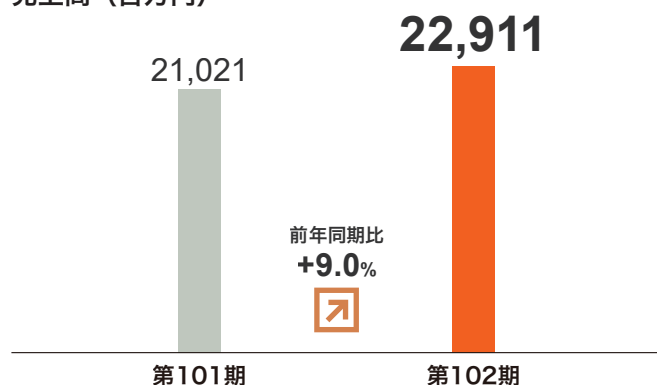
## セグメント情報



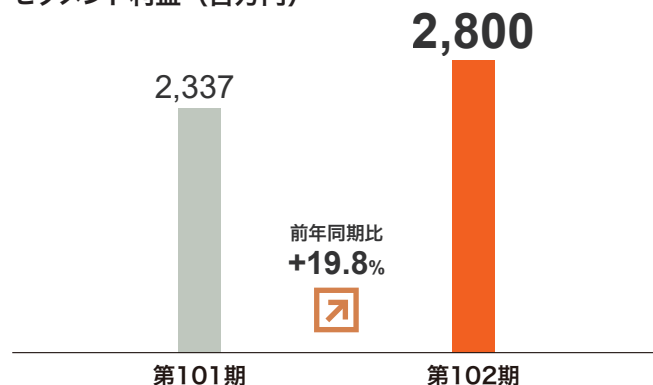
## 運送事業

当事業につきましては、売上高は229億11百万円（前年同期比9.0%増）となり、セグメント利益は28億円（同19.8%増）となりました。これは主に、オフィス移転事業が増加したことによるものです。

### 売上高 (百万円)



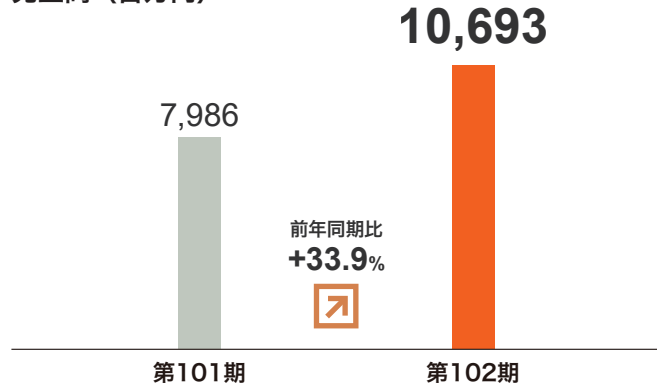
### セグメント利益 (百万円)



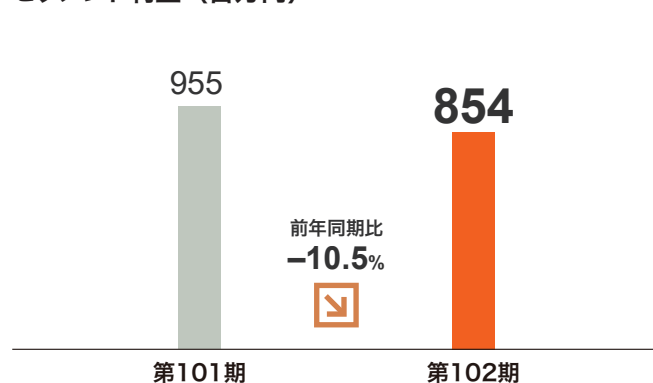
## 倉庫事業

当事業につきましては、売上高は106億93百万円（前年同期比33.9%増）となり、セグメント利益は8億54百万円（同10.5%減）となりました。これは主に、大手eコマース向け業務の倉庫開設により売上が増加したものの、先行投資費用が発生したことにより、セグメント利益が減少したことによるものです。

### 売上高 (百万円)



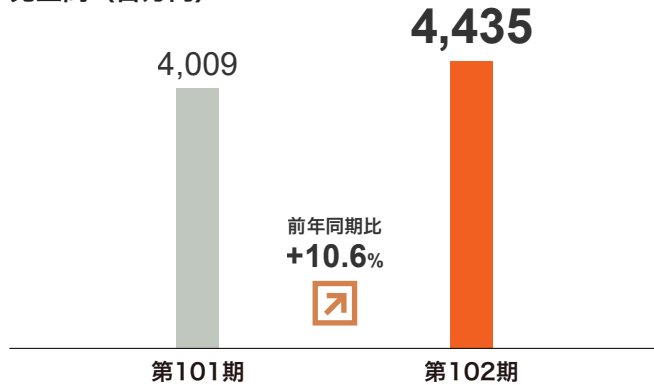
### セグメント利益 (百万円)



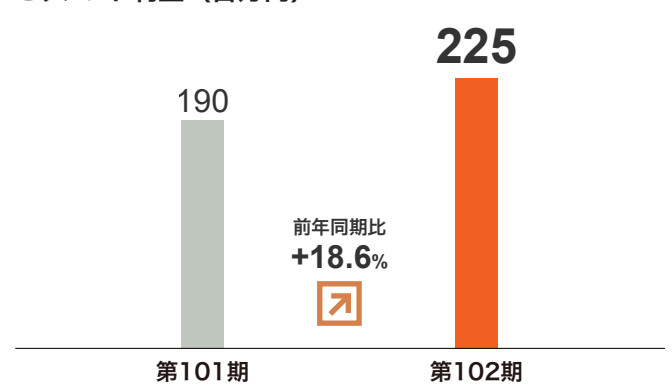
## 商品販売事業

当事業につきましては、売上高は44億35百万円（前年同期比10.6%増）となり、セグメント利益は2億25百万円（同18.6%増）となりました。これは主に、大口得意先に対する資材販売が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



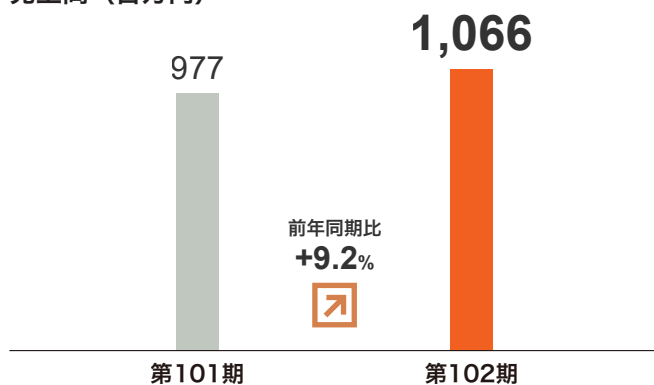
セグメント利益（百万円）



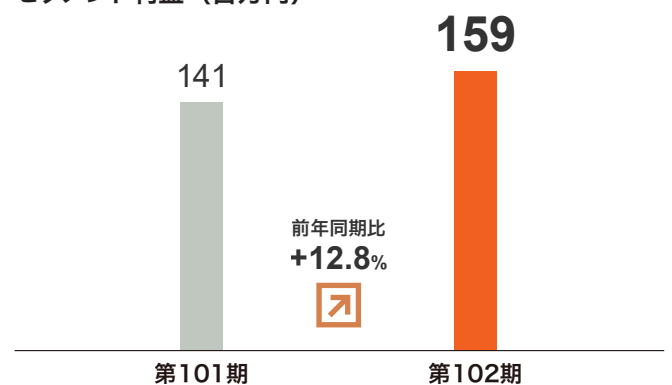
## ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は10億66百万円（前年同期比9.2%増）となり、セグメント利益は1億59百万円（同12.8%増）となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



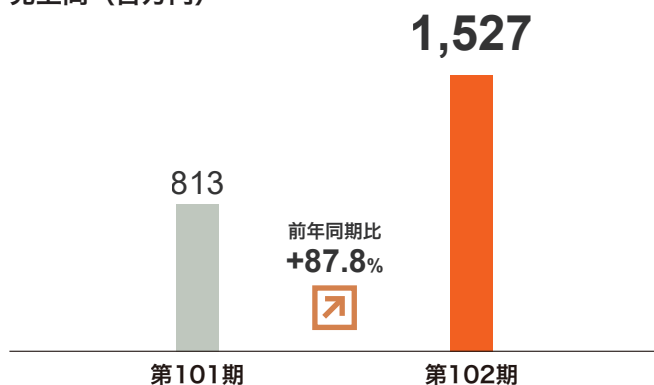
セグメント利益（百万円）



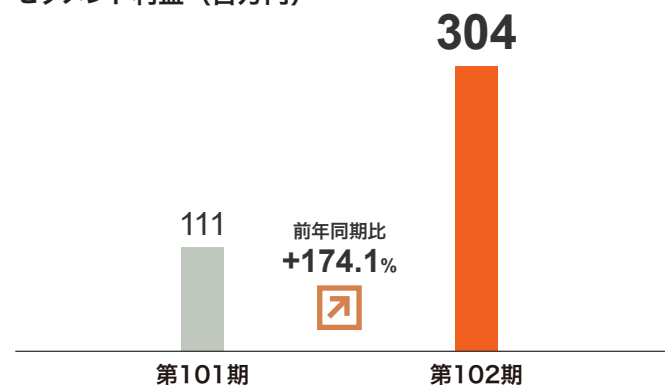
## その他事業

当事業につきましては、売上高は15億27百万円（前年同期比87.8%増）となり、セグメント利益は3億4百万円（同174.1%増）となりました。これは主に、2022年10月より株式会社旅人の新規連結を開始したことによるものです。

売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）



## TOPICS 1 ▶ 神戸西ロジスティクスセンターを開設しました

当社は3PL業務の新規受託に伴い、兵庫県神戸市に新たに「神戸西ロジスティクスセンター」を開設しました。

当施設は、関西有数の物流集積地である神戸テクノ・ロジスティックパーク(神戸市産業団地)に位置し、関西・中四国への広域配送の拠点としても優れた立地になります。

当施設のメリットと長年の歴史で培った豊富な物流ノウハウを最大限に活用し、関西圏での大手e-コマース向け3PL業務の拡大を目指します。

### ▶ 神戸西ロジスティクスセンターの概要



倉庫外観



地図

建物名称	神戸西ロジスティクスセンター
所在地	兵庫県神戸市西区見津が丘1丁目26 →神戸電鉄粟生線「木津」駅から 徒歩6分 →山陽自動車道「神戸西」ICから 約1.5km
賃貸面積	16,576坪（1棟） （倉庫14,086坪、バス1,729坪、 事務所761坪）
稼働開始	2024年3月



## TOPICS 2 ▶ 当社事業部・グループ会社で許認可を取得しました

### 【ISMS認証の取得】

2023年11月 当社東京NH営業室美女木センターにおいて、「ISMS認証」を取得しました。

ISMSとは、Information Security Management System（情報セキュリティマネジメントシステム）の略で、情報の「機密性」、「完全性」、「可用性」を保護するための体系的な仕組みのことを指します。

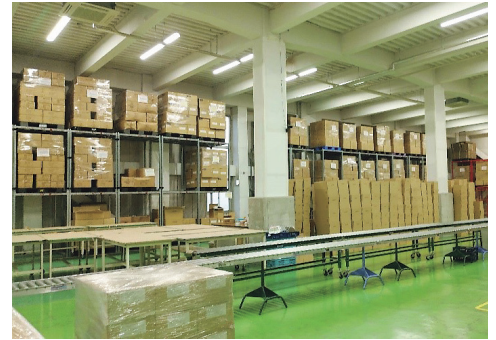
今回取得した認証は、組織の情報セキュリティのための仕組みが国際規格に適合していることを証明する制度で、ISO/IEC27001国際規格に沿って、情報セキュリティを確保するための仕組みをもち、その仕組みを維持し継続的に改善していることが、ISMS認証機関により認められたものです。



JQA-IM2056  
NH事業部  
東京NH営業室 美女木センター



倉庫外観



作業エリア

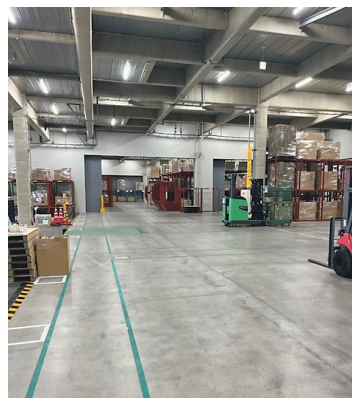
### 【化粧品製造業許可、医薬部外品製造業許可の取得】

当グループ会社の株式会社イシカワコーポレーションにおいて、「化粧品製造業許可」と「医薬部外品製造業許可」を取得しました。

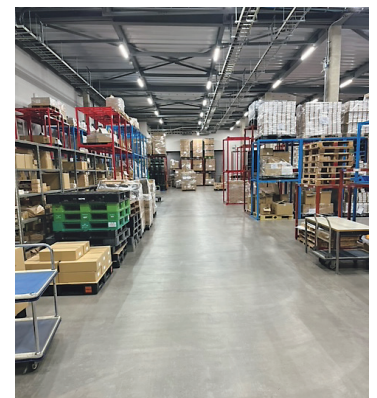
今回取得した許可は、化粧品や医薬部外品の包装・表示・保管の区分に対するもので、倉庫・物流加工業における法定表示ラベル貼付や包装、セット組みといった加工作業の受託に関するものです。



倉庫外観



倉庫内



当社では更に多くのお客様にご愛顧いただけるよう、安全で高品質なサービス提供を引き続き目指してまいります。



## TOPICS 3 ▶ 2023年度下半期のCSRに関する取組をご紹介します

当社グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを「ひまわりプロジェクト」と名付け、子どもを軸とした様々な支援活動を行っています。

### ① 「第16回大樹生命ヒーローズカップ」決勝大会への協賛

ヒーローズカップとは、青少年のラグビー活動を通じて豊かな社会の創造と次世代育成を目指すNPO法人ヒーローズ主催の全国小学生ラグビーフットボール大会です。当社グループは本大会の開催趣旨に賛同し、2017年度から毎年継続して協賛を行っており、2023年度は2024年1月27日・28日に日産スタジアム（神奈川県横浜市）で開催された決勝大会に対して協賛しました。



### ② 園児向け「交通安全教室」開催

当社グループでは交通安全啓発の取組として、2019年より地域の保育園児・保育士に交通ルールや交通安全への知識を伝える「交通安全教室」を実施しております。2023年度は当社大阪本社ビルに居入っているピッコロ子ども倶楽部谷町園、ぴっころきゅー谷町園の3～5歳の園児約60名を対象とし、東警察署交通課と共同で開催いたしました。



### ③ 「こころの劇場」大阪府公演への協賛と運営ボランティアの参加

当社グループが2023年度より協賛している「こころの劇場」（主催：一般財団法人舞台芸術センター／劇団四季、後援：文化庁）大阪府公演に、当社社員が運営ボランティアとして参加しました。

「こころの劇場」は、全国の小学生を学校単位で劇団四季ファミリーミュージカル公演へ無料招待するプロジェクトであり、子どもたちの豊かな心の育成を目指し、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など生きていく上で大切なことをテーマとした舞台作品を通じて、感動の輪を広げる取組です。

#### <2023年度の上演作品>



劇団四季ミュージカル『ジョン万次郎の夢』  
撮影：阿部章仁

#### <運営ボランティアの様子>



当社グループは「安全と安心を大切に、物流事業を通じ社会に奉仕する」という経営基本方針のもと、子どもたちを安全・安心に育むことのできる社会の実現を目指し、引き続き様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



# ひまわりプロジェクト



## 会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	1944年12月
本社	大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数1,495名 (単体従業員数670名)
グループ会社	ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人

## 役員 (2024年6月14日現在)

取締役				執行役			
取締役	児島 一裕	社外取締役	江上 雅彦	社外取締役	勝田 達規	代表執行役社長	児島 一裕 <sup>※</sup>
取締役	山田 寛	社外取締役	樋口 真人	社外取締役	亀井 正明	常務執行役	山田 寛 <sup>※</sup>
取締役	田口 宗勝	社外取締役	大西 由紀			常務執行役	田口 宗勝 <sup>※</sup>
取締役	原田 昌也	社外取締役	脇 陽子			常務執行役	原田 昌也 <sup>※</sup>
						上席執行役	外園 千尋
						上席執行役	角野 公史
						上席執行役	新井 慶景

※は取締役を兼務しております。

## 執行役員 (2024年6月14日現在)

上席執行役員	山川 圭洋	執行役員	井上 和大	執行役員	新村 誠司
執行役員	吉原 永詞	執行役員	窪田 一夫	執行役員	大久保律夫
執行役員	氏郷 敏章	執行役員	日吉 晋介		

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,174,475株
	(自己株式89,525株を除く。)
株主数	4,963名

## 配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株36円

\*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.7
日本生命保険相互会社	1,040	7.9
星光ビル管理株式会社	938	7.1
株式会社毎日新聞社	700	5.3
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	602	4.6
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社西日本シティ銀行	520	3.9
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
株式会社星和ビジネスリンク	359	2.7
金森滋美	201	1.5

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式(89,525株)を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL <a href="https://www.e-higashi.co.jp">https://www.e-higashi.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp>

ヒガシ21

検索

公式SNSはじめました!



facebook



Instagram



ヒガシ21

ヒガシ21



当社は、2006年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、9営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみ与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トゥエンティワン

株式会社ヒガシ21